

団体名 NPO法人さんま



見守り活動のタイトル：

## 子どもたちが安心して育んでいけるよう地域のつながりづくり

キャッチコピー

### 子どもも大人も一緒に食べよ！

代表 石川静枝

住所 千葉県松戸市本町13-27 子育てつながるセンターco-no-mi

連絡先 090-5413-1102 (石川)

ウェブサイト：<https://www.3-ma.net/>

団体活動開始：2018年07月～



HP

## 見守り活動の概要

### 食料支援、居場所提供など

- 市内の2箇所を主な拠点として、地域の子ども達、子育て家庭、ひとり親家庭や生活困窮家庭の見守りを行なっている。特に必要な家庭にはLINE、電話でつながり、食品、おむつ、ミルク、リユースの洋服などの生活に必要なものを自宅へ届けている。公的機関との連また、制度につながるまでの期間のサポートなど。
- 週に2回居場所を開催し、主に話を聞く、一緒に調理、おしゃべり、学習支援など利用者を主体に必要なであればサポートをしている。
- さんま広場・さんま食堂、ひとり親ファミリー応援DAYなどでお弁当の配布、個配

## 見守りエピソード/ストーリー

- チラシ、紹介などから公式LINEでつながってもらい、情報の配信を行っている。コロナの影響から始まったお弁当の個配では玄関先で少しお話したり、引取りに来た利用者さんと話をするなど少しの時間でも声をかけるよう意識している。個配先でははじめは恥ずかしくて顔を出してくれなかった子どもたちが、いろいろ話してくれるようになったり、お弁当の引き取りに来た保護者と世間話や相談を受けたりと、ゆるやかに気軽なつながりができるよう心掛けている。
- 「お弁当の日があってよかった」「おいしかった」というメッセージも頂くことが多くお弁当作りに参加してくれている地域のボランティアさんと共有しながら、一緒に食を通して見守りを行っている。



### 活動写真



地域のボランティアさんとお弁当作り



お弁当、個配用冷凍副菜など



子ども達のバーベキュー体験

## 見守り活動のポイント

- 支援する支援されるという関係ではないつながりづくり
- それぞれの家庭の生活を大切にしたいかわり
- 家族構成や人数などに合わせた食材の提供など必要なものが届けられるようコミュニケーションを大切にしている
- 地域とのつながりも持てるようイベントなどの情報なども提供
- 主にひとり親世帯の子ども達対象にイベントなど計画、実施をしている
- 必要な場合、公、民間と情報交換などをする

## 見守り活動をはじめた背景

### 【子どもたちが安心して育んでいけるよう地域のつながりづくり】

団体の目的として

子どもの権利条約の精神に鑑み

すべての子ども・若者が生まれた境遇に依らず別け隔てなく安心して過ごし

豊かに成長できる地域社会の実現を目指し

地域と子ども・子育て家庭のゆるやかなつながりづくりのため

居場所づくりやこども食堂などを運営してきた。

特にコロナでの外出制限が出たため、毎月開催していたこども食堂に来れなくなった時期から、気になる家庭へ個別にお弁当の配達を始めた。当初は地域の飲食店の協力で10食ぐらいから始めたが、必要性や要望が多いことなどから徐々に増え毎月100～130食ぐらいのお弁当の提供、約半分は個配で配達の実施を行うことになった。特に一人で子育てしている家庭では、日々の生活が精一杯で母親の休養、子ども達とのゆっくりとした時間が取れていない現状が目に見えてきた。特に幼児期の子どもがいると外出も母親ひとりでは手が足りない。母親、子どもの疾患、就労など複合的に生活しにくさの要因が絡まっている、身近に頼れる親族もいない家庭も多く、ヤングケアラー、外出制限がきっかけで不登校気味、家庭にこもりがちで状況の小学生、中学生がいることも見えた。公的支援にはつながってはいるが日々の細かいところまでは手が届きにくく、またサポート内容が当事者の望みとギャップなどもあるなど一つの機関ではなく、重層的な支援が必要、様々なかわり体制が必要と思う。

## 対象／頻度／内容

### (1)

- 対象者：地域の子ども、子育て世帯（ひとり親世帯含む）
- 対象世帯：毎月約35世帯 年間1080食
- 場所：松戸市本町 子育てつながるセンターco-no-mi
- 頻度：毎月第二月曜日
- 内容：お弁当の配布、個配

### (2)

- 対象者：地域の子ども、子育て世帯（ひとり親世帯含む）
- 対象世帯：毎月10世帯 年間260食
- 場所：松戸市古ヶ崎834 さんまのいえ
- 頻度：毎月第3火曜日
- 内容：会食、配布対応

### (3)

- 対象者：主にひとり親世帯、生活困窮者世帯
- 対象世帯：毎月約25世帯 年間720食
- 場所：松戸市本町 子育てつながるセンターco-no-mi
- 頻度：毎月第四月曜日
- 内容：お弁当の配布、個配

### (4)

- 対象者：主にひとり親世帯、生活困窮者世帯
- 対象世帯：毎月約15世帯 年間120食
- 頻度：毎月第四金曜日
- 内容：お弁当の個配

### (5)

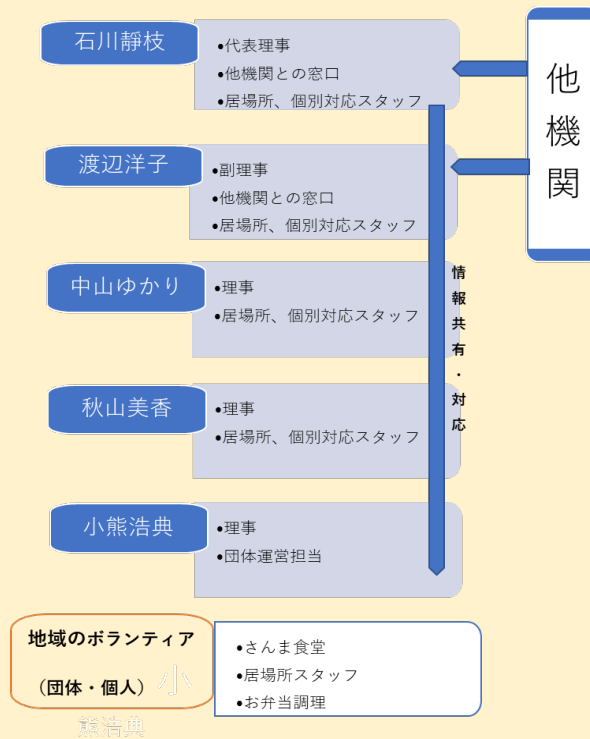
随時

他機関からの要請で食材、おむつ、ミルクなど提供、個配

## 見守り活動において抱えている課題

- 制度ではカバーしきれないサポートも多く、ボランティアという範囲では対応しきれない。マンパワーが必要。人件費などの団体の運営資金の不足
- それぞれの家庭の困難さが違うため、ひとつひとつきちんと表面化する必要性  
食材提供をメインにかかわりがスタートするが、世帯の課題は様々な要因があり、少しでもその家庭が生活しやすくなるため事例などで現状の情報交換・共有の場の開催
- 地域社会との連携（公的、民間、個人等）
- 支援先としての位置づけ

## 見守り活動を行う組織体制図



## 他団体との連携

- 公的機関（行政、教育機関等）  
対象者の直接の紹介、その後の情報交換など
- 市内こども食堂のネットワーク

### 【その他】

食材、物資等の提供

- ・とうかつ草の根フードバンク...緊急用食材、おむつ、ミルクなど
- ・まつどフードバンク...お米、食材など
- ・パルシステム（毎月）...野菜、果物
- ・ファミマフードドライブ（毎月）...店舗を利用するお客様よりの寄付
- ・地域の飲食店よりひとり親応援DAYのお弁当協力（毎月）...こちらの予算に合わせたお弁当
- ・地域の個人より現金、お米、リユースの洋服などの寄付など